



川の国応援団通信



きれいな川を次世代へ川の国埼玉 川の再生交流会を開催



平成27年2月8日(日)、午前10時30分から「さいたま市民会館うらわ」において、川の再生活動に取り組んでいる皆さん、約450名の皆さんが一堂に会し、「川の再生交流会〜きれいな川を次世代への国埼玉〜」を開催しました。

午前の部は、県立浦和第一女子高等学校アナウンス部の中村さんと佐野さんの司会でさわやかに開催されました。

始めに、栄東中学・高等学校コーラス部の皆さんにオープニングコーラスを披露していただきました。「山中幻想」、「ふるさとの四季」とともに美しい歌声が参加者を魅了しました。

埼玉県環境部の半田部長の講演では、河川でさまざまな活動をしている皆さんが一堂に会する交流会は貴重かつ先進的な取組であること、行政と団体・住民との役割分担や連携が大切であること等についての話がありました。

続いて、「綾瀬川をきれいにする強化月間」(10月)で生活排水対策に協力した越谷市立大間野小学校と、綾瀬川の支川である出羽堀流域で約3500世帯が取組に参加した出羽地区自治会連合会に国土交通省江戸川河川事務所の宮川所長から感謝状の贈呈が行われました。流域15校の代表として参加した越谷市立大間野小学校は「守ろう みんなの綾瀬川を!」と題して発表しました。

児童が「綾瀬川博士」として登場する等、寸劇を交え、工夫を凝らした発表に会場から大きな拍手が起りました。



「綾瀬川をきれいにする強化月間」における生活排水対策への協力に対する感謝状贈呈



半田環境部長の講演

参加者が一致団結し士気を高める「川の国埼玉宣言」では、「出羽地区自治会連合会」の松苗さんが川の国応援団を代表して宣言者を務め、盛大に行われました。最後に参加者全員で県歌斉唱を行い、午前の部前半が終了しました。休憩後、川の再生活動等の発表が行われました。

「唐沢川を愛する会」から【地域住民による河川浄化活動】、「イオン北戸田店」から【イオンの環境・社会貢献活動】、「県東松山農林振興センター」から【川のまるごと再生プロジェクトによる人間川の魚道整備】、「県水環境課」と【川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉】から【埼玉県の生活排水処理施設整備状況】について発表が行われ、午前の部が終了しました。

午後の部は、初心者向けからベテラン向けまで幅広いテーマを設定した分科会を行いました。今年の分科会は、①「始めの一步〜お困りごと相談〜」、②美化活動のすすめ、③環境学習 地域と学校、④多自然の川づくり、⑤都市排水路の川づくり、水質改善とゴミのない川、⑥100プランとまるごと 再生交流、⑦水質浄化 下水と浄化槽とマナー向上の7つのテーマで行われました。新たな

テーマであった第2分科会、第6分科会も含め、各会場ともに活発に意見交換が行われました。分科会終了後、ホールでまとめが行われ、川の再生交流会は閉会となりました。参加者からは、「とても勉強になった。今後の活動に活かしていきたい」、「多くの人と交流できて良かった」といった感想をいただき、とても有意義な交流会となったようです。



分科会での交流の様子



唐沢川を愛する会の発表



会場が一体となった川の国埼玉宣言

会員のひろば



活動報告

～585団体が県内各地で活動中！～

今回は、2月8日に開催した「川の再生交流会」に参加された団体からの報告です。

「守ろう みんなの綾瀬川を！」 【越谷市立大間野小学校 4年生】

大間野小学校の学区内には、綾瀬川が流れています。綾瀬川は水源がなく、水田の水、家庭や工場の排水が川の水となるため汚れやすい川です。

大間野小学校では、4年生の総合的な学習の時間の「水と緑の越谷リサーチ」という単元で、綾瀬川の歴史や環境について学習します。綾瀬川探検を行い、水質調査のCOD検査も行いました。

学習の中で、綾瀬川の水の汚れの大きな原因は家庭排水だということがわかりました。

そこで、10月の「綾瀬川をきれいにする強化月間」に4年生の全家庭に協力してもらい、「川にやさしい排水マナーチェックシート」を活用して、生活排水マナー

の向上に取り組みました。

生ゴミの

水切りを良く

くすること、

フライパン

などの油を

流さず、紙

や布で拭き

取ってから洗うこと、シャンプー

などを使いすぎないことをどの家庭でも実践しました。

お椀1杯の味噌汁を捨てたら、

魚がすめる水になるまでにお風呂

の水4～5杯分が必要になります。

学習の過程で分かったことや実践した内容、これから心がけたい

ことなどを、川の再生交流会で、

6人の児童代表が寸劇を交えて楽しくわかりやすく発表し、会場

からは大きな拍手をいただくことができました。

また、2名の保護者の代表の方も実践の感想を発表

してくれました。

川には自然の浄化力があります

が、多くの人が住む場所では、川の浄化力を超える汚れが流れ込んで

しまいます。

これからも、学校・家庭・地域の

取組として、生活排水マナーを向上

させ、自然を守り、学区内を流

れる綾瀬川の水をきれいにしてい

きたいと思えます。



「川の再生交流会で

地域住民による河川浄化活動と

環境美化運動を紹介」

【唐沢川を愛する会

栗田 照正】

深谷市のほぼ中央を流れる「一級河川の唐沢川」の河川浄化と美化活動を地域住民が中心となって活動している「唐沢川を愛する会」です。地道な活動を地域の住民が力を合わせ、二十二年間継続しています。

今から五十年前前は、「唐沢堀」と呼ばれ臭くて汚い川で、県や市の行政からも「あそこは手をつけてもムダ」と敬遠されていました。

三十年前、天神町では「子供達にお祭りの楽しさ」をと「青年部」を結成。廃材利用の手作りの山車を制作して、深谷の夏祭りに参加し、子供達や天神町の町民がお祭りにより盛り上がりてきました。

当時の自治会長は、この若い力を唐沢川に向けたいと「青年部」に依頼し、了承を得、「唐沢川を愛する会」を立ち上げました。行政の力に期待せず、自分たちの川は自分たちで守り子供たちに受け継いでいこうと力強くスタートしました。

組織は、自治会の役員が兼務し、

自治会主体で活動を始めました。

運営費用等は自治会とは別に、年

一口二百円の会費とし、天神町の

住民の賛同を得て四百五十人の会

員を募ることができました。

活動は、年六回の河川清掃、土手

の美化活動、年一回の唐沢イベン

トを実施しています。

また、下流にある天神町は、上流

の自治会に活動を要請し、四町内

の協力を得ることができました。

点から線、線から面への展開でし

た。今では、四町内合同の年一回

イベント時「唐沢川の大掃除」を実

施しています。

河川清掃、土手の美化活動は、地

道な活動ですが、二十年以上も継

続しますと水質も改善し、今では

サケの遡上、アユの生息、水辺に

はカワセミが飛び交うようになり

ました。

活動していて一番うれしいのは、

行政からの表彰より近隣の住民の

人達から

「きれいに

なったね」

という一言

です。

これからも

活動は

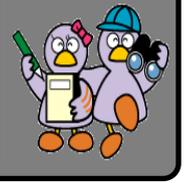
まだまだ

続きます。



特集

子供向け「みんなの川の チェックシート」を利用して



川の国応援団通信第4号(平成26年3月31日発行)で、子供たちに川やその周りの環境への関心を高めてもらうため、「子供版」みんなの川のチェックシート」をご紹介させていただきました。今号では、実際に川の環境学習を行い、「子供版」みんなの川のチェックシート」をご利用いただいた小学校の先生にご感想をいただきましたのでご紹介させていただきます。

なお、チェックシートは、水環境課のホームページで公開しております。また、水環境課にご連絡いただければ、必要部数をお送りいたします。ぜひ、学校の総合的な学習の時間や地域の環境学習などでご利用ください。

「市野川探検隊(環境学習)を実施して」

【東松山市立新宿小学校】

3年担当教諭 金子 博雄

今回、市野川探検隊で実際に川に入って魚や水生昆虫を捕まえた。石投げをしたりしたことは、子

どもたちにとって大変貴重な経験となりました。

新宿小3年の子どもたちにとって、市野川はすぐ近くを流れる川ですが、なかなか触れ合うことのできない自然の一部でした。市野川へ探検に行くことを伝えると驚く子どもが大半でした。川に入る前から子どもたちは、意欲的に準備へ取り組んでいました。

当日、川の中へ入ることを怖がっていた子どもたちも「市野川を再生させ隊 in 松山」の学校応援団やボランティアの保護者の方々に安全を見守っていただき、すぐに慣れることができました。川に入ってみると、なかなか生き物を見つけることができませんでした。しかし、草の根や流れの弱いところに小魚やエビがいることを一人の子どもが見つけるとすぐにどの子も捕まえ始めました。自らの手で魚を捕ったときの笑顔が忘れられません。どんどん探検の範囲を広げていきました。水の流れが気持ちよいと感じる子どももいました。学校応援団やボランティアの方々に仕掛けていただいた網の中の大きなコイや雷魚を見せていただく、子どもたちからは「大きい」「カッコいい！」など驚きと喜びの声があがりました。市野川にこんなに大きな魚がたくさんいるとは知らなかったようです。私たち教師も子どもたちの自然への感性に驚かされました。

アンケート「みんなの川のチェックシート」からも次のようなことが分かりました。予想以上に生き物がたくさんいたと多くの意見が多かったです。市野川にまた入るチャンスがあったら遊んでみたいという意見も多く出されました。話を聞いてみると川は危険な場所、自分たちだけでは立ち入っ

てはいけない場所と注意を受けている子どもがほとんどでした。今回のように環境学習の場を整えていただき、教室だけでは学習できない川と触れ合う機会をこれからも是非経験させていただきたいと思えます。

子供版

みんなの川のチェックシート

○みんなの結果を集めて、今回の調査結果をまとめてみましょう！
○ここでまとめた調査結果(グラフ)は、今回、調査を行った場所での今回の調査における代表的な評価です。
○自分の結果と違っていても間違いではありません。どこがどのように違うか考えてみましょう。

集計シート

学校名(団体名) (イベント名)	東松山市立新宿小学校 3年3組		調査人数	27人
日時	平成26年9月4日 16時00分	天気	当日の天気: 曇り 前日の天気: 晴れ	
川の名前	市野川	場所の名前	観音穴前	

質問	「3」を選んだ人数	「2」を選んだ人数	「1」を選んだ人数	最も人数が多かった評価	なぜその評価にしたのか(代表者の理由)
①水の流れ	0人	20人	7人	2番	流れが弱かった。
②水の澄み具合	0人	20人	7人	2番	少しにごっていた。
③生き物	15人	12人	0人	3番	たまにコイやエビが取れた。
④植物	11人	14人	2人	2番	川の中にもたくさん植物があった。
⑤まわりの景色	8人	19人	0人	2番	川のほとりも自然があった。
⑥自然の音	4人	14人	10人	2番	流水の音が聞こえた。
⑦におい	1人	19人	8人	2番	少し臭いにおいを感じた。
⑧食べられる物	2人	15人	10人	2番	食べられる物を感じた。
⑨遊ぶ	0人	8人	19人	1番	遊んで遊ぶと楽しかった。
⑩触る	26人	1人	0人	3番	触れた。また魚を捕まえてくれた。

感想をお願いします！

子どもたちが川の水や魚などの自然にふれながら活動することができました。身近な川、市野川を通して理解が深まり、愛着が湧いたように思います。

川の国埼玉検定を実施



平成26年度も川の国埼玉検定(入門編及び中・上級編)を実施し、たくさんの方々の方々に埼玉の川に関する問題に挑戦していただきました。

入門編は、8月、9月、11月の3回実施し、1146人の参加がありました。

イベントのブース内に展示したパネルをヒントに問題を解いていただきました。

全員が5問中4問以上正解し、認定証、コバトンシールなどを差し上げました。

中・上級編は、11月29日(土)にさいたま共済会館で実施しました。

今回で5回目の開催で、県内各地で川の再生活動等を長年続けられている方々19名が受検しました。

検定の合格基準は、正解率80%以上で上級合格、60%以上で中級合格です。今回の検定では、14名が上級合格、4名が中級合格でした。

上級合格者の中で、「ご了解いただいた方には、「川の国アドバイザー」として登録させていただきます。環境学習の講師などとして、川の再生活動団体などを支援していただきます。



川の国応援団の支援メニューに関するお知らせ

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会からカヤック4艇を寄贈いただきました

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会から「カヤック」4艇を平成27年2月、県に寄贈していただきました。

寄贈されたカヤックを含めて、7艇のカヤックを貸し出します。



ワイヤレスアンプシステムを貸出メニューに追加しました

「ワイヤレスアンプシステム」は、一体型なので、面倒な接続は不要です。また、電源はAC100Vと単2乾電池の2ウエイで、屋内や屋外など使用場所を選びません。キャリアバッグ付きです。イベントの際にご利用ください。



支援メニューにTシャツが加わります

「Tシャツ」は、平成27年2月に開催した川の再生交流会の参加者にお配りして好評をいただきましたので、支援メニューに加えることにしました。

なお、数に限りがありますので、先着順で1団体20着までとさせていただきます。この機会にご利用ください。



- サイズ: 男性用Lサイズ
女性用Lサイズ
- 色: ブルー
- 郵送等を希望の場合は、支援を受けようとする団体が送料の負担をお願いします。

新メニューはもちろん、川の再生活動に役立つ支援メニューを用意しています。ぜひご利用ください。

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1
(第3庁舎1階)
TEL: 048-830-3088
FAX: 048-830-4773
E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。
☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。
☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/kawanokuniouendan/index.html>

